

薪(まき)ストーブというのは 文字通り薪を燃料にしたストーブです 実は単に鉄の容器に煙突がついていて その中で薪が燃えているだけ・・・という単純なものではありません ストーブの中の構造や 煙突の仕組みも意外にも複雑で 燃焼の仕組みや熱の伝わり方のことを理解していないと 炎を維持することはできません 私もかつて安いのを一つ持っていました が 最初のうちは点火すらできませんでした しかしこの友人の薪ストーブはすばらしいです これなら炎と対話すらできるでしょう



これが完成した絵です



1、この画では、下絵が非常に重要です 薪ストーブそのものが主題なので 真ん中に置いた構図にしました



2、背景 燃焼室など まずは画の全体に平等に色を配して「感じた色」を直感的に薄く置けばOKです



3、主題の薪ストーブもまずは面的に薄い黒で塗っておきます 最初は立体感を意識する必要はありません



4、少しずつ立体感を出していきます これも画全体に平等に色を重ねていきます



5、いよいよ炎を描きます 黄→橙→赤→茶→黒の順に重ねます 同時に背景のレンガも少しずつ色を重ねます 1個ずつ丁寧に仕上げましょう



6、薪ストーブの中の薪が一番難しいです 一部が赤くパチパチしている感じがなかなか出ません 最後にパステルでハイライトをつけて完成です